

世界遺産 日光の社寺



世界遺産の二社一寺(東照宮、輪王寺、二荒山神社)周辺を中心に歩くコースです。

周辺スポット

① 観音堂(産の宮)

開山堂の隣にある観音堂は、安産信仰の社で、別名「香車堂」(きょうしゃどう)とも呼ばれる。将棋の駒の香車が戻らずに直進する駒なので、妊婦がこの駒を借りて帰り、無事出産できたなら一回り大きな駒を返す。

③ 白糸の滝

滝神社の石段手前、左奥の天狗沢にかかる高さ10mの小滝。文明18年(1486)9月、京都聖護院の門主、道興准后が、滝神社参詣のときに書いた「廻国雑記」に出てくるのを始め、古くからその名が知られた名瀑。

⑤ 殉死の墓

新道堂境内の西側に、殉死の墓がある。これは、慶安4(1651)年4月20日の徳川3代将軍家光の死に殉じた江戸の5名の忠臣と、徳川幕代家臣19名の墓で、墓石は高さ3メートルを超える堂々としたものです。家光の乳母だった春日局(かすがのつばね)の元の夫である、稲葉正成の名前も見える。

⑦ 感満ヶ淵

男体山から噴出した溶岩によってできた奇跡で、古くから不動明王が現れる霊地といわれる。川の流れが不動明王の真言を唱えるように響くので、見物者正が真言の最後の句「カンマン」をとり、感満ヶ淵と名付けたという。元禄2年(1689)松尾芭蕉も奥の細道行脚の途中立ち寄っている。

② 開山堂

弘仁8年(817年)、勝道上人が83歳で亡くなると、弟子たちはこの地で、上人を荼毘にふした。東照宮鎮座の時、墓所をこの地に移し、上人供養の霊廟として、重層宝形造り、朱塗りの堂宇を建て、開山堂と名づけた。

④ 滝尾神社

弘仁11年(820)弘法大師の創建。現在の建物は、江戸初期のもの。二荒山神社の別宮で、新宮・本宮と共に日光三社権現の一つ。田心姫命(たごりひめのみこと)を祀る。

⑥ 並び地蔵(化け地蔵)

慈眼大師天海の門弟や、有縁の僧侶が「過去万壘・自己菩提」のために、親地蔵と石地蔵約100体を刻み「並び地蔵」とした。列座の奥の親地蔵と他の地蔵のいくつかが明治35年(1902)の大洪水で流失した。当初100体余りあった並び地蔵は、現在74体しか残っていない。別名「化け地蔵」「百体地蔵」と呼ばれる。

⑧ 浄光寺

浄光寺は、古くは往生院といい、滝尾神社参道入口の仏岩にあったが、寛永17年(1640)に現在の地に移り、この地域一帯の菩提寺となった。ご本尊は、春日仏師作と伝えられる阿彌陀如来三尊坐像。本堂は昭和48年に増改築されたもので、境内には、この寺の長い歴史を物語る史跡が数多くある。

ウォーキングマップ 保存版

日光の社寺世界遺産登録記念として誕生した日光ツアーウォーク。第20回大会で惜しみながら幕を閉じましたが、保存版としてコースマップが誕生!日々の健康増進や、数々の重要文化財など豊かな歴史と四季折々の美しい自然を体験できる日光ならではのウォーキングコースを、ぜひお楽しみください!

凡例
 20km コース
 10km コース
 5km コース
 見 みどころ
 W-C トイレ
 スタートゴール
 風光明媚
 P 駐車場
 C.V コンビニ

コースマップエリアの情報は
こちらから

観光
 食事
 宿泊

交通のご案内
 QRコードを読み取り、出発地から目的地までのルートや、所要時間などのアクセスを検索できます。



日光山輪王寺 三仏堂

日光山輪王寺の中心にある大本堂が三仏堂です。三仏堂の名は、千手観音(男体山)、阿彌陀如来(女峰山)、馬頭観音(太郎山)の三体の本地仏を祀っていることに由来します。三体の仏像は金色の寄木造りで、台座から後背の頂まで約7.5メートルあります。また、堂前の「金剛桜」は、国の天然記念物に指定されています。

日光東照宮 陽明門

日光東照宮の建造物を代表する陽明門は、高さ11.1メートルの2層造りで、正面の長さは7メートル、奥行きは4.4メートルあります。江戸時代初期の彫刻や鋳金具、彩色といった工芸・装飾技術の粋が集約され、一日中見ても飽きないことから「日暮らし門」とも呼ばれています。また、12本の柱のうち1本は「腐除けの逆柱」と呼ばれ、模様か他の柱とは逆向きに彫られています。

日光二荒山神社

二荒山神社の神門をくぐると正面にあるのが拜殿です。間口16メートル、奥行き12メートルの単層入母屋で、黒漆の塗られた銅瓦がはかれています。日光の殿堂の中では珍しく彫刻や文様などが一切なく、単純にして力強い建造物です。造営の年代は明らかではありませんが、正保年間(1644~48年)ごろと考えられています。

田母沢御用邸記念公園

日光田母沢御用邸は、日光出身の銀行家、小林年保の別邸に、旧紀州徳川家江戸中屋敷の一部を移築し、その他の建物は新築される形で、明治32(1899)年に大正天皇(当時 皇太子)のご静養地として造営されました。大正天皇のご即位後、大正時代に大改修が行われ現在の姿となりました。昭和22(1947)年に廃止されるまでの間、大正天皇をはじめ、三代にわたる天皇・皇太子がご利用になりました。

足をとばせば... 奥日光(湯元・中宮祠地区)

日光の中でも、特に中禅寺湖から北側のエリアを「奥日光」と呼びます。華厳ノ滝や中禅寺湖のある中宮祠地区には、JR、東武日光駅から車またはバスで国道119号・120号を約40分ほどで到着します。途中の「いろは坂」は、紅葉の名所でもあります。また、良質な温泉の湧きだす保養地である湯元温泉へは、中宮祠地区からさらに車またはバスで約30分ほど掛かります。



日光市温泉保養センター 「やしおの湯」

ウォーキングマナー 五ヶ条

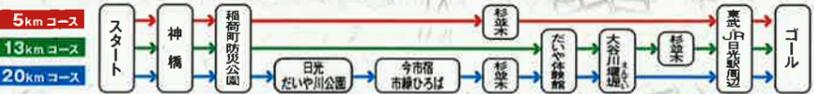
- やあ!おはよう 明るい挨拶 さわやかに
- 信号で あわてずあせらず 待つ余裕
- ひろがるな 参加者だけの 道じゃない
- 自分のゴミ 自分の責任 持ち帰り
- 歩かせて いただく土地に 感謝して

有料駐車場

- 西参道第1駐車場 W-C
- 西参道第2駐車場

この地図は、国土院院長の承認を得て、国院発行の電子地形図25,000を複製したものである。(複製番号 平30複製_第387号)

ギネスブック 日光杉並木コース



日光市内を流れる大谷川沿いを中心に、市街地や世界一長い並木道として、ギネスブックに認定されている日光杉並木を歩くコースです。

ウォーキングマップ 保存版

日光の社寺世界遺産登録記念として誕生した日光ツーデーウォーク。第20回大会で惜しみながら幕を閉じましたが、保存版としてコースマップが誕生!日々の健康増進や、数々の重要文化財など豊かな歴史と四季折々の美しい自然を体験できる日光ならではのウォーキングコースを、ぜひお楽しみください!

凡例

- 20km コース
- 13km コース
- 5km コース
- 見 みどころ
- W-C トイレ
- スタート ゴール
- 風光明媚
- P 駐車場
- C.V コンビニ

コースマップエリアの情報は こちらから

観光 食事 宿泊

交通のご案内

QRコードを読み取り、出発地から目的地までのルートや、所要時間などのアクセスを検索できます。

見 日光山輪王寺 逍遥園

見 日光東照宮 五重塔

小杉放菴記念 日光美術館

見 日光二荒山神社 神橋

mekke 日光郷土センター

旧 日光市役所記念公園

日光市温泉保養センター「日光温泉」

日光山眺望

日光だいや川公園

だいや体験館

道の駅日光 日光街道ニコニコ本陣

船村徹記念館

歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館 (入館無料)



ちょっと 足をのばせば… 霧降高原

霧降高原は日光の門前町の北側に位置し、中心となる「キスゲ平園地」へは、JR、東武日光駅から車またはバスで30分ほどで到着します。キスゲ平園地では、7月上旬にニコウキスゲの大群落を楽しむことができる他、「つつしが丘」では、6月にピンク色に染まるヤマツツジの花を楽しむこともできます。また、周辺には霧降の滝や大笹牧場などのスポットも点在しており、家族連れなどでにぎわっています。

周辺スポット

1 日光杉並木

東照宮参拝のために日本橋から日光(鉢石宿)まで整備された日光街道。21宿のうちの今市宿には、例幣使街道と会津西街道が通じていた。日光杉並木はこの3街道に植えられた杉の並木。徳川家康公・秀忠公・家光公の3代にわたって将軍家に仕えた松平正綱・正信親子が、20年の歳月をかけて植樹したもので慶安元(1648)年、家康公の三十三回忌に、東照宮へ参道並木として寄進された。最も美しいといわれる「並木太郎」や山桜が寄生した「桜杉」など約1万2100本が樹齢を重ねている。国の特別史跡と特別天然記念物の二重指定を受けている。

1992年版のギネスブックから美測した35.41キロで「世界一長い並木道」として認定された。保護のために杉並木オーナー制度も導入されている。

2 杉並木公園

日光杉並木街道の保護と地域の文化伝承の目的で瀬川の国道119号沿いに整備された。広さは6.7ヘクタール。園内には報徳仕法農家と江戸期の農家、植物園があり、豊富な水を生かして大水車や重運水車、世界の水車が動く。杉並木の中を散策もできる。

見どころ

日光二荒山神社 神橋

聖地日光の表玄関を飾るにふさわしい朱塗に映える美しい神橋は、昔は「山誓の蛇橋」などと呼ばれ日光二荒山神社の建造物で国の重要文化財に指定され、平成11年に世界遺産に登録されました。山間の峡谷に用いられた「はね橋」の形式としては、我が国唯一の古橋であり、日本三大奇橋(山口県錦帯橋、山梨県猿橋)の1つに数えられている神橋を渡るができます。ぜひ、お楽しみください。

日光山輪王寺 逍遥園

日光の紅葉の名所として有名なこの「逍遥園」は、1250年の歴史を持つ輪王寺門跡の庭園として江戸時代初期に作庭されたもので、一説には小堀通州(こぼりえんしゅう)の作と伝え、その完成を見たのは寛永年間ですが、その後たびたび改修が繰り返され、江戸時代全般にわたる変化が見られる興味深い名園を、ぜひご覧ください。

日光東照宮 五重塔

慶安3年(1650)に小浜藩主酒井忠勝によって奉納され、その後焼失しましたが、文政元年(1818)に小浜藩主酒井忠勝によって再建されました。江戸時代の精巧な匠の技をぜひご覧ください。



- ウォーキング マナー 五ヶ条
- やあ!おはよう 明るい挨拶 さわやかに
 - 信号で あわてずあせらず 待つ余裕
 - ひろがるな 参加者だけの 道じゃない
 - 自分のゴミ 自分の責任 もち帰り
 - 歩かせて いただく土地に 感謝して